

焚き火

薪を組み立てて火をおこすプログラムである。薪の組み立て方や火を大きくする過程を通して、思考力、主体性、協調性を養う。燃えている火を囲みながら、キャンプファイヤーとは違った楽しさを感じるだろう。

○時期…通年

○所要時間…1時間以上

○対象…小学校高学年以上

○定員…200名（1グループ5名程度）

○実施場所…グリーンホール、A 営火場、B 営火場、
野外炊事場（各場所50名程度）

○指導…職員指導なし

焚火台の組み立て方
動画は [こちら](#)



○団体が用意するもの

薪（購入）、着火剤（購入）

➡営火場・野外炊事場で実施の場合は薪置き場。

➡グリーンホールで実施の場合はグリーンホール。

割りばし（必要に応じて）

○貸出物品➡グリーンホールシャッター内
焚き火台、火ばさみ



薪は2グループに1束程度。



○服装

よごれてもいい服装（化学繊維は避ける）、軍手

○活動手順

【活動前】

・薪、着火剤を活動場所に持ってくる。（薪置き場のリアカーをご利用いただけます）

【活動時】

1. 集合場所に集まる。

グループ同士の間隔
をあけましょう。

2. グループごとに道具を準備する。

・焚き火台、火ばさみ、薪、着火剤

3. 着火の準備をする。

・着火剤を置き、薪を組み立てる。

・細い薪を下に置くなど組み方を工夫する。

・2～3段くらいの高さにする。

薪割りをしていない場合は、割りばしなどを持参して火が燃え移りやすいようにしましょう。

4. 焚き火をする。

5. 終了後、片付けと掃除をする。

・使用した薪は残灰置き場に入れる。火が完全に消えるまで見守る。

・焚き火台、火ばさみは、元の場所に片付ける。

・床が汚れている場合には、グリーンホールのシャッター内にあるほうきで掃除をする。

薪の組み方例



並列型 1



三角組



井型